かしのかいだより

平成29年度 前編

"Smile and Warmth"

社会福祉法人 山梨樫の会

法人本部
〒400-0003 山梨県甲府市塚原町359
TEL.055-252-1600(代)
FAX.055-252-1602
E-mail honbu@kashinokai.or.jp

HP http://www.kashinokai.or.jp/
山梨樫の会 検索

★福祉全般に関することご相談ください

理事長挨拶　臼井　行夫

この度、「かしのかいだより」を刷新致しました。より多くの皆様に社会福祉法人山梨樫の会の運営についてご理解いただきたいと思い、当法人が運営する全事業の情報を網羅した広報誌に生まれ変わりました。本号では、「初心忘るべからず」という思いから、法人や各事業所の理念などを掲載致しました。法人の社会的存在意義や法人の信念などがご理解いただけるのではないでしょうか。「かしのかいだより」は９月と３月の年２回発行する予定です。ぜひ、ご覧ください。

さて、社会福祉法人山梨樫の会は、高齢者・児童・障害児者福祉など多様な福祉ニーズに正面から取り組みつつ、その使命を果たしてまいりました。ご利用者お一人お一人の「個性と誇り」を大切に笑顔の絶えない施設として精一杯の支援に心がけております。

私達は、これからも地域福祉の中核施設として、福祉の総合支援センター的役割を担ってまいりたいと考えております。そこで、職員一同しっかりとした理念のもと感性と理性を磨きオンリーワンの仕事を目指して精進を重ねてまいらなければなりません。福祉は心を通わす「精神労働」です。私達は、その事を片時も忘れることなく“笑顔とぬくもり”をコンセプトにこれからも福祉にまっすぐ進んでまいります。

どうぞ、皆様のご支援、ご叱責を心よりお願い申し上げごあいさつと致します。

副理事長挨拶　大柴　堅志

新しく入職した職員対象の研修で必ずお願いしていることがあります。①ぞんざいな言葉は使わない②身体拘束はしない③人の悪口は言わない④決して一人で悩まない⑤自分がされて嫌なことは他人にしない。どれも“当たり前”のこととかもしれませんが、だからこそ“当たり前”のことを思い切って実践してみませんか！との想いを新人さんにお伝えしています。介護や福祉を取り巻く社会情勢が大きく変化している中、私ども法人は基本理念として『“笑顔とぬくもり”の心』『総合的“人生”支援』『職員の希望・喜び・幸せの実現』の３つの柱を掲げ歩んでいます。信頼される地域福祉の拠点として、これまでも、そしてこれからも“当たり前のこと”がしっかりできるよう研鑽を積みつつ、多くの人に「選んでいただける法人・施設」を目指してまいります。

６月11日（日）ダイトースターレーン双葉にて職員の親睦ボウリング大会を行いました。

当日は、職員や職員の子供も合わせて70名が参加し、みんなでボウリングやランチを楽しみました。優勝したチームや最高得点者には豪華景品があり、また参加者全員には参加賞もあり、大変盛り上がりました!!

私たちの法人では、職員旅行やバーベキューなど様々なイベントを行っています。

日頃のリフレッシュや法人内での職員交流を深めるため、各施設から選出された親睦委員が中心となり企画・運営をしています。

今後もいろんなイベントを紹介させていただきます。

うちの子紹介

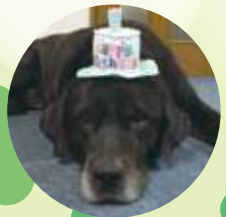
甲府相川ケアセンターに暮らして今年の６月１３日で１３歳のお誕生日を迎えました。人間でいえば７０歳近い年齢です。最近では口の廻りや手足の先が白くなり、動作も段々と鈍くなるなどまるおも年をとったなと感じます。一日寝ている事が多くなりました。

若い頃はよく脱走したり石垣を駆け上ったり事務所のカウンターを飛び越えることも出来ました。でも、いつまでたっても食べることやお散歩は大好き！特に食パンが大好きで・・パンを貰うときはよだれが止まりません。

特定な人にしかしない「お座り・待て・お手」を誰にでもするなど、すっかりお利口犬です。頂いた人の車まで覚えています。

毎日の日課のお散歩は理事長に連れて行ってもらうのを楽しみにしています。夕方になると、お散歩まだかな～？とそわそわ・・元気一杯に出かけていきます。

お散歩から帰れば、大好きな「ご飯」の時間・・・おかげさまで好き嫌いなく何でも食べるので助かっています。



名前　まるお　雄
性格　我がままで臆病、嫌なことがあるとすぐため息をつく
好きな言葉　ごはん

今年の夏も暑いけど・・
わんわんアイスで乗りきろうネ・・まるお

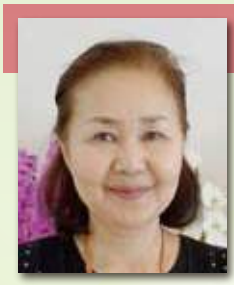
障害児者福祉事業

児童発達支援センター かしのみ学園

相談支援事業所 にこっと

〒400-0064
山梨県甲府市下飯田２丁目 5-12
TEL.055-237-5100(代)
FAX.055-237-5101
E-mail kashinomi@kashinokai.or.jp
★お子様に関することご相談ください

園長挨拶　山之内　一江



かしのみ学園は平成 29 年 4 月に開園した県内で 5 か所目の児童発達支援センターです。

「児童発達支援センター」とは、発達につまずきのある未就学児が日常生活における基本動作や知識・技術を習得し集団生活に適応できるようにするための専門的な通園施設です。幼稚園・保育園と同じように日課・行事を行います。

生活習慣を身に付けるため、それぞれのお子様にあった支援を専門のスタッフが行います。例えば臨床心理士による発達検査、PT・OT による機能回復のためのリハビリ、児童指導員・保育士等による社会生活に適応するための日常動作（歌をうたう・絵本を読む・給食を食べる・園庭で遊ぶ・トイレへ行く等々）の中での支援になります。

保護者の皆様とかしのみ学園がともに協力してお子様の成長を一緒に見守っていきます。ご家族の皆様の見学、お問い合わせを職員一同お待ちしております。

施設紹介

かしのみ学園では、職員が色鮮やかなエプロンを身につけ、明るい雰囲気の中子どもたちと笑顔で接しています。子どもの発達に合わせて温かみのある手作りのおもちゃを作り、養育の中に取り入れています。

また、園庭の芝生は青々としておりキラキラした太陽と心地良い風の中、子どもたちは伸び伸びと元気よく遊んでいます。

併設の相談支援事業所にこっとでは、支援が必要な障害のある方やご家族の相談支援を行なっています。面接等を通してサービス等利用計画を作成し、一人ひとりのニーズに合ったサービスが利用できるよう支援します。

また、保育所等訪問支援事業では、訪問支援員が保育所や幼稚園などに訪問し、障害のある子どもたちが集団生活に適応できるよう支援します。

更に、来年の４月までには、放課後等デイサービスを開所し、通学中の障害のある子どもたちの放課後や夏休みなどの長期休暇中のサポートを行う予定です。

事業内容

児童発達支援センター事業　定員３０名
保育所等訪問支援事業
放課後等デイサービス事業（本年度中開所予定）

併　設

相談支援事業所にこっと

基本理念

笑顔とぬくもりをコンセプトに子どもの人権を尊重し、一人ひとりの子どもが現在および将来と共に、その持てる力を十分に発揮した生活が営めるように総合的な支援を行います。

かしのみっこ かしのきっこ

かしのみ学園では、親子あそび教室（かしのみっこ・かしのきっこ）を開いています。臨床心理士によるミニ講座を開催しているので発達や子育てに関することなどお子様のお悩み相談にのります。

保育士・児童指導員とおもちゃで遊んだり、園庭の遊具で遊んだりと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

●開催予定日

かしのみっこ（未就園児対象）　10:00～11:30
9月7日(木)・12日(火)・21日(木)・26日(火)
10月5日(木)・10日(火)・19日(木)・24日(火)

かしのきっこ（就園児対象）　15:00～16:30
9月9日(土)・23日(土)
10月5日(木)

かしのみアクアリウム

かしのみ学園には熱帯水槽があります。ニモやドリーなどのかわいらしい生き物がおりとても綺麗です。かしのみ学園に通っている子ども達も夢中になって水槽の中で泳いでいる魚やエビを眺めています。水槽を眺めていると、不思議と心が穏やかになるので職員も水槽を眺めることがよくあります。

ある日の献立

・手作り夏野菜カレー
・トマトスープ(卵)
・ブロッコリーのミモザサラダ
・みかんゼリー

手作りの夏野菜カレーです。野菜がいっぱい入っていても、残すことなくモリモリ食べています!! トマトのスープは職員にも好評です。

児童福祉事業

児童養護施設 あいむ

〒400-0064
山梨県甲府市下飯田 2 丁目 5-5
TEL.055-220-1100(代)
FAX.055-220-1101
E-mail im@kashinokai.or.jp
★児童に関することご相談ください

施設長挨拶　小名木　健

昨今の社会的背景から生まれる児童を取り巻く様々な悲しい事象を受け、社会福祉法人の一つとして社会に貢献できることがあるはず、との思いから山梨県の認可をいただき、甲府市有数の文教区域である下飯田の閑静な住宅街の中に「児童養護施設あいむ」は生まれました。

私たちは児童にどのような背景があろうと一人の人間として尊び、児童が児童らしく健やかに成長し、「愛」と「夢」を持って社会に羽ばたいていけるよう、自分自身を大事にする心、人のために考え行動できる心を育てていきたいと考えています。

個性豊かな児童一人一人が思い描く将来に、職員がそっと手を差し伸べるような温かい生活場所であるために、日々職員も研鑽を積み、地域の皆さまはもちろん関係機関の皆さまとともに歩みを重ねていきます。

施設紹介

山梨樫の会が担う児童福祉のパイオニアとして、何らかの事情により親御様と生活出来ない児童の養育、退所児童への相談など自立を支援しています。また、山梨県内初の全室個室・小規模ユニットを整備し、手厚い養育を実行しています。

本年度は満を持して「公文式」の導入を行い、将来を見据えた児童の学習支援に力を入れています。

保護者として各学校への PTA 活動に積極的に参画しているのも、常に地域の皆様のために、と目を向けている山梨樫の会イズムと言えるのではないでしょうか。

事業内容　児童養護施設　定員 24 名
子育て短期支援事業（ショートステイ）

ある日の献立

・ドリア
・目玉焼き
　ハンバーグ野菜添え
・すまし汁
・フルーツ（桃）

食育は子供たちの成長に欠かせません！あいむの食事は職員の手作りが基本。毎日心を込めて作っています。

基本理念

私たち児童養護施設あいむは、社会福祉法人山梨樫の会の一員として「笑顔とぬくもり」の心をこめたプロフェッショナルなサービスを提供するために、真摯な態度で研鑽を重ねていくことを忘れず、「総合的“人生”支援」の一翼を担う誇りと自覚を持ち、職員一丸となって児童の自立支援に取り組む「チームあいむ」である。

身近な大人である職員こそが最重要な発達環境であることを意識し、日常的に和気藹々と助け合い学び合う家庭的な雰囲気を醸成し、児童が様々な事柄に親しむ体験を通じて児童相互の協調性や思いやりを培いながら、情緒豊かな人間形成と自立心を養う。

また、能力に合った学習支援を通じて「自信」を獲得し、将来の選択肢を増やし社会に貢献出来る人材を創出していく。

「あ」ありがとうの気持ちを大切に
「い」今と未来の自分を育てよう
「む」無限の可能性を信じて

あいむとは
愛と夢に満ち溢れた居住環境と人間関係の中で「大切にされている」ことが実感できる安心安全な生活場所である。

子どもとは
無限の可能性を持って「生き」「育ち」「守られ」「参加する」かけがいのない唯一の人生を歩んでいる。人間として主体的に生きる権利を保障され、尊重される存在である。

職員とは
常に子どもたちと共に学び、共に遊び、共に歩む存在である。いかなるときも「強く」「賢く」そして何より「優しく」子ども達を導いていく。

くもん式学習

今年度より、あいむでは公文式を導入しました！

平日の夕方～夜にかけて現在 16 名が取り組んでいます。

開始から半年程経ちますが、様々な面で良い成果が出始めています。

問題数、1 日約 200 問。1 ヶ月で約 4000 問。半年で 24000 問。凄いですね！

頭も心も鍛えられます。

「やってて良かった公文式」と子供たちの声を聞けるその日を信じて今日も公文の学習です！

高齢者福祉事業

介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター

〒400-0003
山梨県甲府市塚原町 359
TEL.055-252-1600(代)
FAX.055-252-1602
E-mail aikawa@kashinokai.or.jp
★介護に関することご相談ください

施設長挨拶　　足立 英二

ご利用者の皆様には、日頃より甲府相川ケアセンターをご利用いただきましてありがとうございます。また、ご家族の皆様や地域の皆様におかれましては、ご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、私が当施設に着任してから一年が経ちました。日々、職員の勤務ぶりを見ていて、皆よくやっていると感じています。法人の理念の“笑顔とぬくもり”の心が感じられます。私も含めて職員一同、これから更に日々勉強・精進し、地域福祉に貢献していきます。

人の生命は限りなく尊いという考えから、当施設も看取りをする準備をしております。当施設の特色である『他職種協働』のもと、ご利用者の尊厳を損なわず、穏やかに本人らしい人生を全うしていただけるようサポートしていきます。

基本理念

あ 愛情と　smile and warmth
私たちは、お客様をひとつ屋根の下で暮らす家族のように“笑顔とぬくもり”の心でケアを行います。

い 生きがいをもって　pride
私たちは、仕事に誇りを持ち、お客様に生きる喜びを持っていただくよう努力します。

か 家庭復帰を目指す　support
私たちは、お客様の自立支援をサポートし在宅に復帰できるよう働きかけます。

わ 和のサービス　peace
私たちは、チームの一員という自覚を持ち互いを思いやりながら、常にお客様の立場にたったサービスを提供します。

施設紹介

甲府相川ケアセンターは、平成 11 年 9 月 22 日に開設した介護老人保健施設です。自然に囲まれ四季折々の風景と眼下に甲府市の街並みが展望できます。特に夜景は絶景です。施設では医師である施設長を中心に看護・介護・リハ・栄養・ケアマネ・事務等の多種多様なスタッフが勤務しており専門的な意見を交わしながら、ご利用者に『笑顔とぬくもり』のサービスを提供しています。施設を見てみたい介護に関しての困りごとを相談したい等、興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

事業内容　長期入所　96 床
ショートステイ（空床型）
通所リハビリテーション（デイケア）　定員 32 名

併　設　甲府相川ケアセンター居宅介護支援事業所
甲府市北東地域包括支援センター

ある日の献立

初夏ご膳メニュー
- 赤飯
- 手まり麩のすまし汁
- 初夏の天ぷら５点盛り
- 茶碗蒸し
- あじさいゼリー

とても喜んでいただきました。「しその天ぷらとてもおいしかったね」「あじさいゼリーがとても素敵ね」などコメントをいただきました。

介護老人保健施設職員 交流ソフトボール大会

７月１６日（日）笛吹市花鳥の里スポーツ広場にて、介護老人保健施設職員交流ソフトボール大会が１７施設１５チームが参加し開催されました。猛暑日となった大会当日ですが、さらに白熱した試合展開となり、熱中症とも戦いながら準優勝を獲得しました。

大会前まで練習に励み、みんなで勝ちとった準優勝でした。

次回は必ず優勝して、美味しいビールを飲もう！！と誓いグランドを後にしました。

高齢者福祉事業

甲府市北東地域包括支援センター

〒400-0003
山梨県甲府市塚原町 359
TEL.055-252-3398(代)
FAX.055-252-3399
E-mail hokutou@kashinokai.or.jp
★高齢者福祉全般に関することご相談ください

センター長挨拶　荒川 准子

甲府市北東地域包括支援センターは、平成 18 年 4 月より甲府市の委託を受け活動を開始し、11 年目となります。地域の身近な相談窓口として、主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士が協力、研鑽しながら日々の業務に取り組んでいます。これからも、高齢者の地域生活を支えることや『絆づくりは地域から、町づくりは人づくり。～広げよう地域の輪～』をスローガンに、住民同士が互いに支え合える地域作りを目指して活動を継続していきます。

基本理念

私たちは、“ 笑顔とぬくもり ”の心で、高齢者の保健・医療の増進及び福祉の向上にかかる支援を地域に密着して包括的に行い、在宅の高齢者及びそのご家族等並びに地域住民の心身の健康保持及び生活の安定を図ります。

業務内容

さまざまな相談に応じます

介護、福祉、健康、医療など生活全般にわたるさまざまな相談に応じ、必要なサービスや機関につなげます。

高齢者の皆さまの権利を守ります

皆さまが安心して暮らせるよう、虐待の早期発見や成年後見制度の紹介、消費者被害などに対応します。

自立して生活できるよう支援します

介護が必要な状態にならないよう、介護予防に関する情報提供や介護予防事業の利用をすすめます。

地域のつながりを強めます

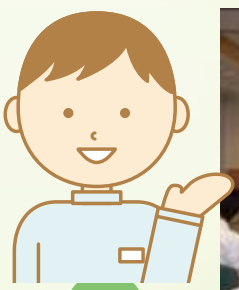
地域のケアマネジャーへの支援や連携のほか、関係機関とのネットワークづくりに力を入れます。

活動紹介

認知症サポーター養成講座

平成 29 年 7 月 19 日に、国立病院機構甲府病院の職員 36 名を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。

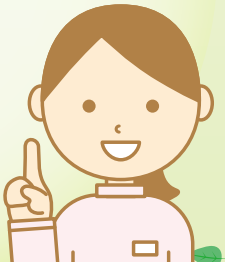
認知症サポーターは、認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者です。



医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会

平成 29 年 8 月 23 日に、甲府市総合市民会館にて、医療・介護に関わるさまざまな職種の方々が参加しました。

お互いの業務の現状や専門職としての意見を交換し合い、顔の見える関係作りに向けた交流会を開催しました。



高齢者福祉事業

特別養護老人ホーム ゆめみどり

〒400-0116
山梨県甲斐市玉川 1700-1
TEL.055-278-2800(代)
FAX.055-278-2802
E-mail yumemidori@kashinokai.or.jp
★介護に関することご相談ください

施設長挨拶　臼井 友基

日頃より、ゆめみどりに対しまして、ご利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、地域の皆様には温かいご支援とご協力をいただき心からお礼と感謝を申し上げます。

このたび、平成 29 年 4 月 1 日付けでゆめみどり施設長に就任いたしました臼井友基と申します。

さて、「介護」とは一体どのようなことを意味するのでしょうか。日本の「介護」の歴史を紐解くと、飛鳥時代の聖徳太子（574 ～ 622 年）が行った病人や高齢者、孤児などへの救済活動まで遡ると言われています。遥か遠い昔のことなので、当時の実態を窺い知ることは難しいかもしれませんが、その理念は“介護＝単なる身体的・物質的な支援”だけではなかったと思います。

ゆめみどりでは、“ 介護＝人の尊厳を守ること ”と定義づけています。飛鳥時代に尊厳や人権という明確な概念があったかわかりませんが、少なくとも人が人を思いやる気持ち、人と人が助け合う気持ちは持ち得ていたはずです。ゆめみどりではそんな人として当たり前の気持ちを大切に、皆様と真摯に向き合っていきたいと考えています。

Smile & Warmth!! 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

基本理念

●理念

○「いつもの人とのいつもの暮らし」を支えます
（生活の継続）

○「あなたの想い」をかたちにします
（個別ケア）

○「あなたのできること」を大切にします
（自律支援）

○「あなたらしさ」を尊重します
（個人の尊重）

●【職員行動指針 & 優先順位】

①『寄り添い』
入居者（利用者）に寄り添い、共感します

②『安全』
入居者（利用者）の安全を守り、安らぎを提供します

③『礼儀』
入居者（利用者）に礼儀を持って接します

④『技術』
入居者（利用者）の手助けとなる技術を高めます

⑤『効率』
入居者（利用者）のために業務の効率化を図ります

施設紹介

特別養護老人ホームゆめみどり他は、入居者が家で過ごしてきた生活を、施設でも継続して行えるように職員は毎日色々考えながら取り組んでいます。職員も入居者の為ならと体を張って盛り上げたり、自分の特技や技術を使って楽しませる職員が沢山います。入居者、職員が共に笑って過ごせる施設を目指していきます。

事業内容　長期入居　70 床
ショートステイ（空床型）

併　設　ゆめみどりデイサービスセンター　定員 30 名
ゆめみどり居宅介護支援事業所

ある日の献立

目に一度の郷土料理、全国おいしいものめぐりツアー、6 月は岡山県です。昼食はバラ寿司、おやつはきび団子です。

・バラ寿司
・肉じゃが
・小松菜のからし和え
・みそ汁（ネギ・麩）

初めての家族懇談会開催！

6 月 3 日、ゆめみどり開設して以来初の「家族懇談会」を開催しました。出席者は 33 家族の 39 人のご参加を頂きました。臼井行夫理事長から日頃の御礼と法人の沿革についてご紹介させて頂いた後、今年度の事業計画や介護方針をご説明し、現在ゆめみどりがチャレンジしている「ユニットリーダー研修実地研修施設」の認定を目指す取り組みやボランティア募集についても紹介しました。質疑応答では、無理をせず、「安心・安全」の介護に一層力を注いで欲しいといったご要望や、職員への労いのお言葉などを頂戴いたしました。

納涼祭を終えて

今回、納涼祭の実行委員長を務める事になった時に、本当に私が勤められるか不安が募る一方でしたが、先輩方皆さんの支えもあり無事当日を迎えられました。しかし、あいにくの雨天となり室内での開催に戸惑いも感じましたが、大勢の方に参加して頂き盛り上がる事が出来ました。納涼祭を終えて感じた事は、先輩方を始め、地域やボランティアの皆様の助けがあり成功する事が出来たと思います。納涼祭に参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

納涼祭実行委員長　望月　翔平

高齢者福祉事業

特別養護老人ホーム 和楽 WARAKU

〒400-0072
山梨県甲府市大和町 3-6
TEL.055-252-2100(代)
FAX.055-252-2106
E-mail waraku@kashinokai.or.jp
★介護に関することご相談ください

施設長挨拶　堀田　潔

地域密着型特別養護老人ホーム和楽 WARAKU は、心身の病気や障がい、家庭の諸事情などにより自宅で生活することが困難な方、在宅サービスの支援だけでは生活が難しい方で、甲府市に住民票があり、要介護 3 以上の方が、ご入居いただける施設です。和楽 WARAKU では、個人の生活の質を保ちながら、食事・入浴・排泄・活動・就寝・健康管理などの日常生活の支援、心身の機能維持、介護保険サービスに関する相談なども行っています。

和楽 WARAKU が行う生活援助のスタイルはユニットケアという、10 名以下の小規模単位で生活を支援する新しい形の介護施設です。全室個室（トイレ・洗面付き）でプライバシーに配慮され、食事や入浴なども個別に支援を行うなど、一人ひとりの 24 時間の暮らしを今までの生活と同様に支えることを目的としています。加齢や疾病により心身の状態に変化が見られたとしても、今までのその方個人を尊重し、最期まで一人の「人」としての尊厳が守られる支援（その人自身であり続けること）を目指します。

また、和楽 WARAKU では全室個室のユニット型ショートステイを併設しておりますのでご利用ください。

地域密着型である和楽 WARAKU は、地域との共生をテーマに、地域に必要とされ、地域の方と交流を深めながら地域福祉に貢献できるような施設運営を行っていきます。

基本理念

基本理念　**あなたの暮らしをそのままに**

『あなた』
心身の状態・思考・性格・好み・生活歴・その他、今のその「人」をつくるすべてのもの　**人権・尊厳**

『暮らし』
今までの生活ペースや何かをするときの方法など、自分が今までしてきた暮らし方、自分の意思（思ったように・希望するように）で過ごすこと　**自律・自立**

『そのままに』
施設で生活するために施設のペースに合わせるのではなく、施設での生活も今までと同じように過ごしていただきたい　**継続・自分らしさ**

人権・尊厳・自律・自立・継続・自分らしさを大切したい、そのための生活支援を考え提供したいという思いが込められています。

施設紹介

私が働いているここ地域密着型特別養護老人ホーム　和楽 WARAKU は特別養護及び短期入所生活介護のサービス事業を行っております。和風モダンにこだわった外観・内装は老人ホームには一見見えないのではないでしょうか。「あなたの暮らしをそのままに」を施設理念とし、我々は今この瞬間も「究極の愛」を目指して日々精進しております。

事業内容　長期入居　29 床

併　設　ショートステイ和楽 WARAKU 5床

ある日の献立

ちらし寿司は利用者様が好まれるメニューのひとつです。彩りよく、食欲をそそるように工夫、これで夏を乗り切ってほしいです。また旬の野菜の炊き合わせは冷製仕立てになっています。

- あなごちらし寿司　・すまし汁
- 夏野菜炊き合わせ
- 胡瓜とカニの酢の物

スタッフよりひと言

暑いですね。本当に暑いですね。みなさん燃えたぎっていますでしょうか？私は涼みたいです。ということで、我が和楽ではこの暑い夏を乗り越えるため、このたび流しそうめんを行いました (*’ω’*) 入居者様も皆様上手に召し上がって笑顔がこぼれておりました！そして職員はいい汗がこぼれておりました！！皆様もこの暑い夏をともに笑顔で乗り越えましょう！…あ、でもこの記事を見てる時はもう季節変わっているかも (;’∀’)

この草なに？はい！ヒマワリとアサガオでございます！いま現在一生懸命入居者様と一緒に育てています。中々芽が出ず苦労しており、ヒマワリさんも元気ないです…。まあ、花の知識は私皆無なので、入居者様と花の手入れが得意な職員にまかせっきりですけどね！私たちに趣味があるように、入居者様にももちろん得意な事や楽しみにされている事があります。その楽しみを一緒に行うことができたら、きっと笑顔がこぼれますね (#^^#) あ、ちなみに僕の生きがいはコーラとゲームです。え、誰も聞いてない？そうですか…

社会福祉法人山梨樫の会　基本理念

『つながり』=『人生は楽しい!』

人生を楽しむ。それは人間として生きていくための普遍的なテーマではないだろうか。そして、このテーマを追求していくと、人は誰も一人では生きていけないということに気付くであろう。個人と個人とのつながり。個人とコミュニティや社会とのつながり。これらの意識的・無意識的“つながり”が人生を楽しいものに創り上げているのである。

また、人生は楽しいなどと空言を吐くなという人や人生はそんなに甘くないという人もいるであろう。しかし、それは必ずしもそうともいえない。なぜなら、人は誰でも人生を楽しみたい、幸せになりたいという欲求を持っているからである。それは、たとえ、自分自身が困苦に耐える状態にあっても、その中で自分らしく生きるにはどうしたら良いかと模索し、自分なりの人生の楽しみ方を見いだすことができるものだと考えられる。但し、そのプロセスにおいて、自分を受け入れてくれる他者、コミュニティや社会が存在すること、その環境が整っていることが重要である。それらは、自分の人生を肯定し、自信を持たせ、楽しく生きるための心の糧となるからである。

社会福祉法人山梨樫の会では、『共助共生』（すべての人が誰かとつながり、共に支え合って生きているという必然的相互扶助の関係性）と『ダイバシティ ＆ インクルージョン』（多様性と包括性：その人がその人らしく、誰もが包まれる）の２つの概念が重なり浸透した社会が、人々の人生を楽しくするファクターだと考えている。そのため、法人の理念はそれらの概念を踏まえ、『総合的“人生”支援』、『“笑顔とぬくもり”の心』、『希望・喜び・幸せの実現』という３つの要素から成り立っている。この３つの要素を絡めることで、支援を必要としている人の人生、コミュニティに集う人々の人生、ひいてはこの法人で働く私たちの人生を楽しむことにつなげていきたい。そして、すべての人間が『人生は楽しい！』と感じることのできる社会を目指し、「今」できることを全力で行い、社会全体の福祉向上に邁進していく。

●『総合的“人生”支援』とは...

法人内の各事業所（及び他の機関）の協働により、支援を必要としている人の主体性をもった人生、支援を必要としている人々が属するコミュニティや社会を総合的（包括的）かつ継続的に支援していくことである。

●『“笑顔とぬくもり”の心』とは...

常に明るく元気よく健康的な“笑顔”と心がほっこりと温まる“ぬくもり”という愛情をもって、支援を必要としている人に寄り添い、支え、相手の心に共感することにより、幸せを分かち合うことである。

●『希望・喜び・幸せの実現』とは...

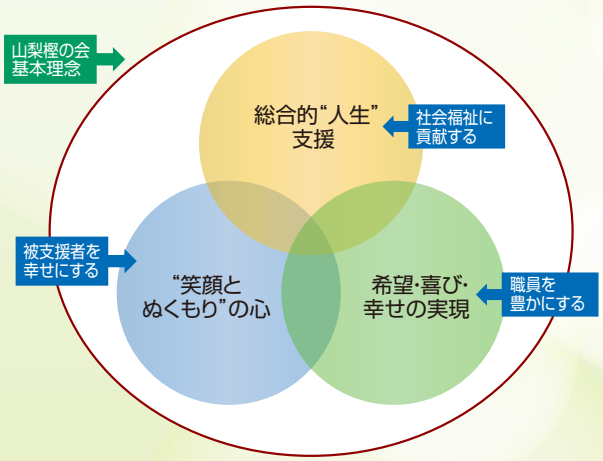
『職員は法人の“宝”である』という思いを、希望・喜び・幸せという3つの形で具現化することである。

希望　職員がやりたいこと、学びたいこと、目指したいことにチャレンジできる職場づくりを推進する。そして、職員が活躍できるフィールドを発展的に拡大していく。

喜び　人が人を支える福祉の仕事では、心のゆとりと適度なストレスというバランスが大切である。そのため、職員が心のゆとりと適度なストレスを持って仕事に臨めるよう労働環境を整備していく。そして、職員一丸となって事業に取り組み達成していく喜びを共有する。

幸せ　職員は、心と身体の健康を保ちながら日々を過ごしていくことが肝要である。そのため、職員の安定した生活とやりがいや安心感を持って働くことのできる職場を促進し、物心両面から職員を支えていく。

社会福祉法人 山梨樫の会 基本理念 ３つの要素



沿革

平成10年 9月	社会福祉法人山梨樫の会 設立認可
平成11年 9月	老人保健施設甲府相川ケアセンター 開設 {96床（うち認知症ケア専門棟30床）、通所32人} 相川在宅介護支援センター 設置
平成12年 4月	介護保険法施行 介護保険事業者指定・事業開始 介護老人保健施設甲府相川ケアセンター （短期入所療養介護、通所リハビリテーションを含む） 甲府相川ケアセンター居宅介護支援事業所 設置
平成18年 4月	甲府市地域包括支援センターあいかわ 設置 （上記設置のため、相川在宅介護支援センター休止）
平成18年 7月	特別養護老人ホームゆめみどり（70床） 開設 ゆめみどりデイサービスセンター（20人） 開設
平成19年 4月	ゆめみどり居宅介護支援事業所 設置
平成22年 4月	甲府市北東地域包括支援センターへ名称変更 （旧名称 甲府市地域包括支援センターあいかわ）
平成22年 8月	ゆめみどりデイサービスセンター（30人）へ定員変更
平成25年 6月	児童養護施設あいむ（24人）開設
平成27年 3月	地域密着型特別養護老人ホーム和楽 WARAKU（29床）開設 併設ショートステイ和楽 WARAKU（5床）開設
平成29年 2月	相談支援事業所にこっと 設置
平成29年 4月	児童発達支援センターかしのみ学園（30人）開設

編集後記

私たち広報委員会は法人本部と各施設からの数名の職員で構成されております。本誌は皆様が普段見ることができない、各施設での出来事や様子をこの広報誌を通して共有し、私たちの繋がりを感じていただければと思い、発行しました。この広報誌は年２回、９月・３月に今年度より発行いたします。今回が初めてのものですが、皆様の目に１つでも多くの記事が目に留まるよう、今後も精進していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

広報委員会　委員長：中込　利弥（和楽）
委員：前田 卓也（相川）・佐藤 隆之（ゆめみどり）
大柴 大（あいむ）坂本 沙穂（かしのみ）
臼井 栄二、清水 愛子、小林 由佳（法人本部）

HP http://www.kashinokai.or.jp/ ブログ Facebook もご覧ください。　※法人・各施設の詳しい情報はホームページをご覧ください。